

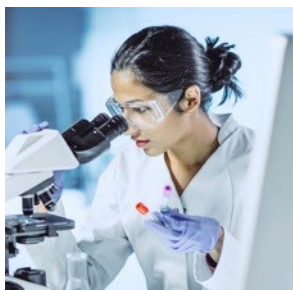
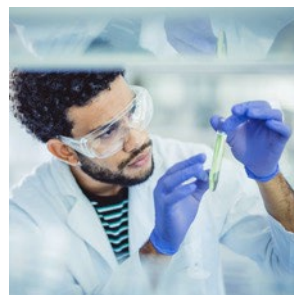
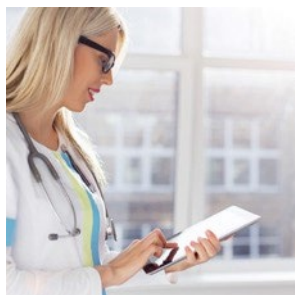


European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

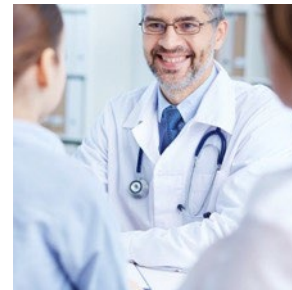


EFPIA Day 2026 プレスイベント

創薬イノベーションを日本の成長につなげる
～患者アクセスと投資を支える制度改革の実行へ～

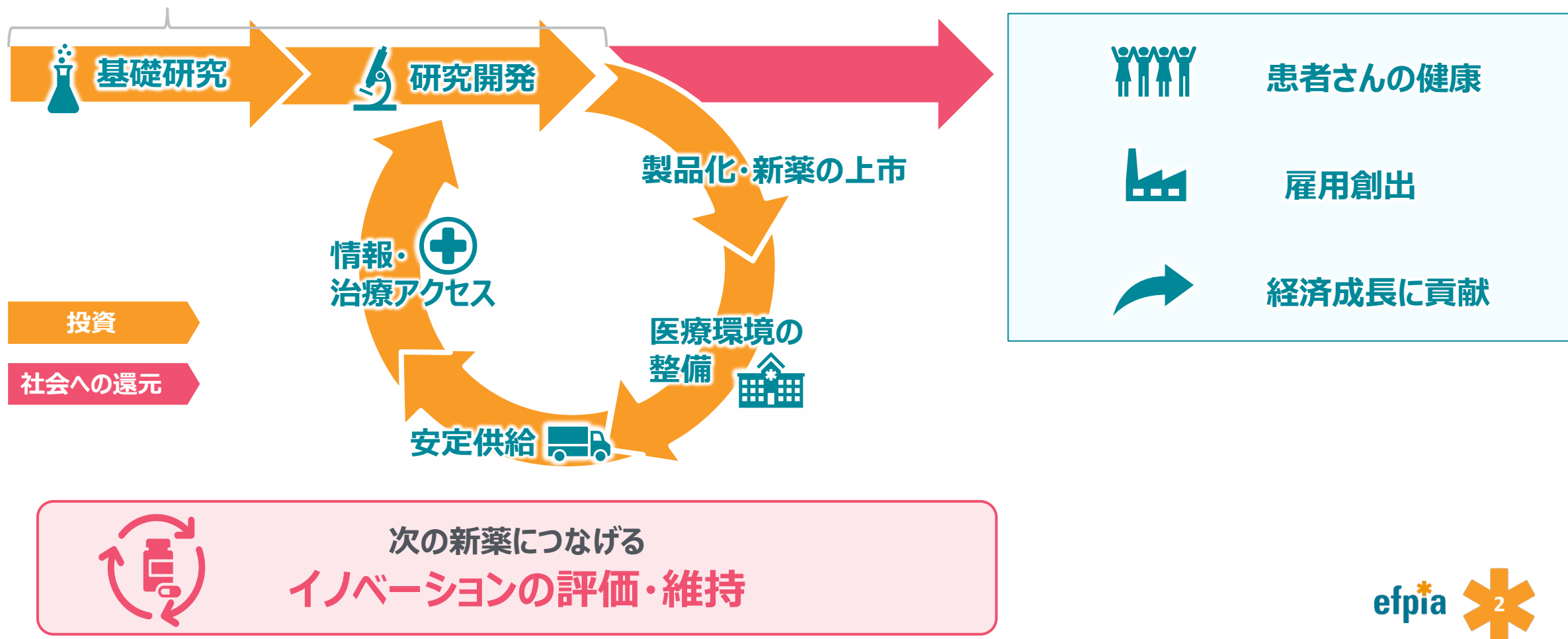


2026年10月14日
一般社団法人 欧州製薬団体連合会
副会長 菊池 加奈子



製薬企業－患者さん・社会・経済の発展に貢献

新薬開発には、長期にわたる投資と高い不確実性への対応が必要



高まる製薬産業の重要性

革新的医薬品の経済的リターン



欧州（EU）での実証データ
1ユーロ → 5.67ユーロ

投資1ユーロがEUで5.67ユーロの経済価値を創出
(EFPIA 2026年調査)

日本の製薬産業の重要性



約30兆円

日本の医薬品関連産業が既に支える売上規模

+12.8兆円 / 100万人超

成長シナリオで2040年までに生み出し得る
付加価値と雇用

「日本成長戦略」戦略17分野に「創薬・先端医療」が選定

製薬業界が直面している喫緊の課題

国内の課題

\$/¥

上市時のイノベーション評価と
特許期間中の薬価維持の課題



研究開発投資の相対的低迷



国際水準の治験環境の整備不足



ドラッグ・ラグ／ロスと
革新的医薬品へのアクセスの課題



製造投資を促すインセンティブの不足

患者アクセスへの影響

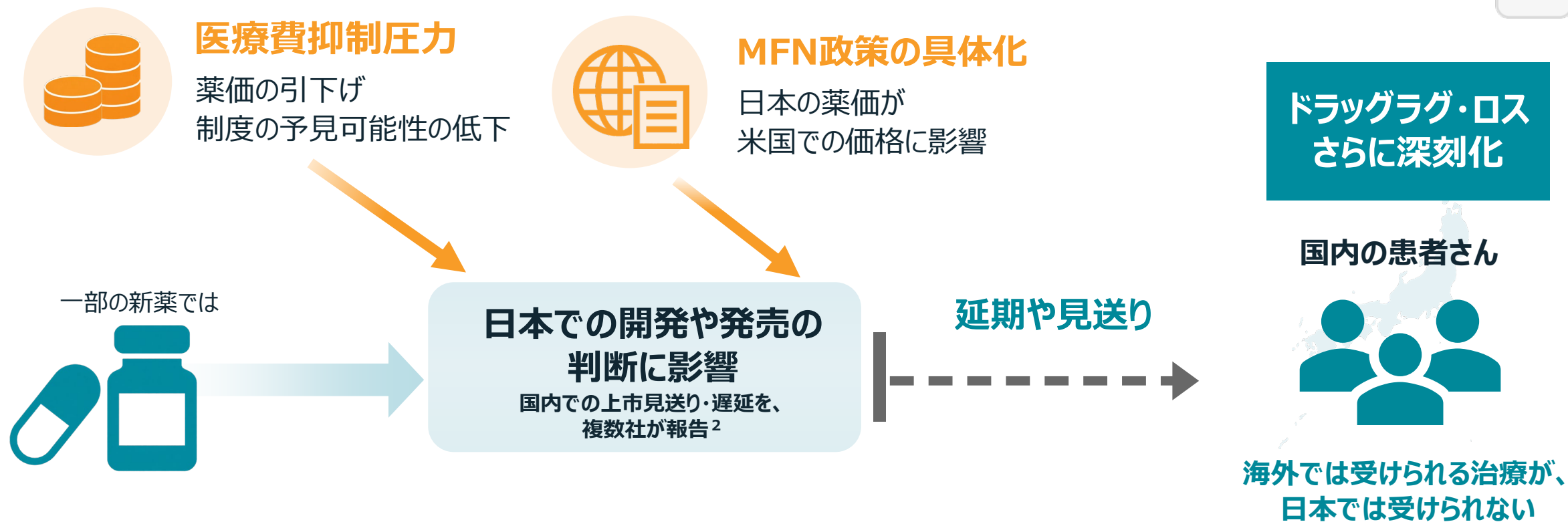
ドラッグ・ラグ／ロスによる治療アクセスの遅延



海外で承認された新薬

海外で承認された新薬
140品目以上が
国内で未承認¹

「ドラッグラグ・ロス」の課題がさらに深刻化



2027年度の制度改革に向けて早急な対応が必要

² PhRMA調査（2026年7月、加盟15社対象）。中医協 薬価専門部会 3団体意見陳述資料（2026年8月26日）、8-9頁。

図：EFPIA DAY 2025資料・EFPIA提言等を基に作成。一部の新薬への影響を示す模式図。

EFPIA Japan「創薬関連投資に関する調査」 ～制度変更が将来の投資判断に影響～

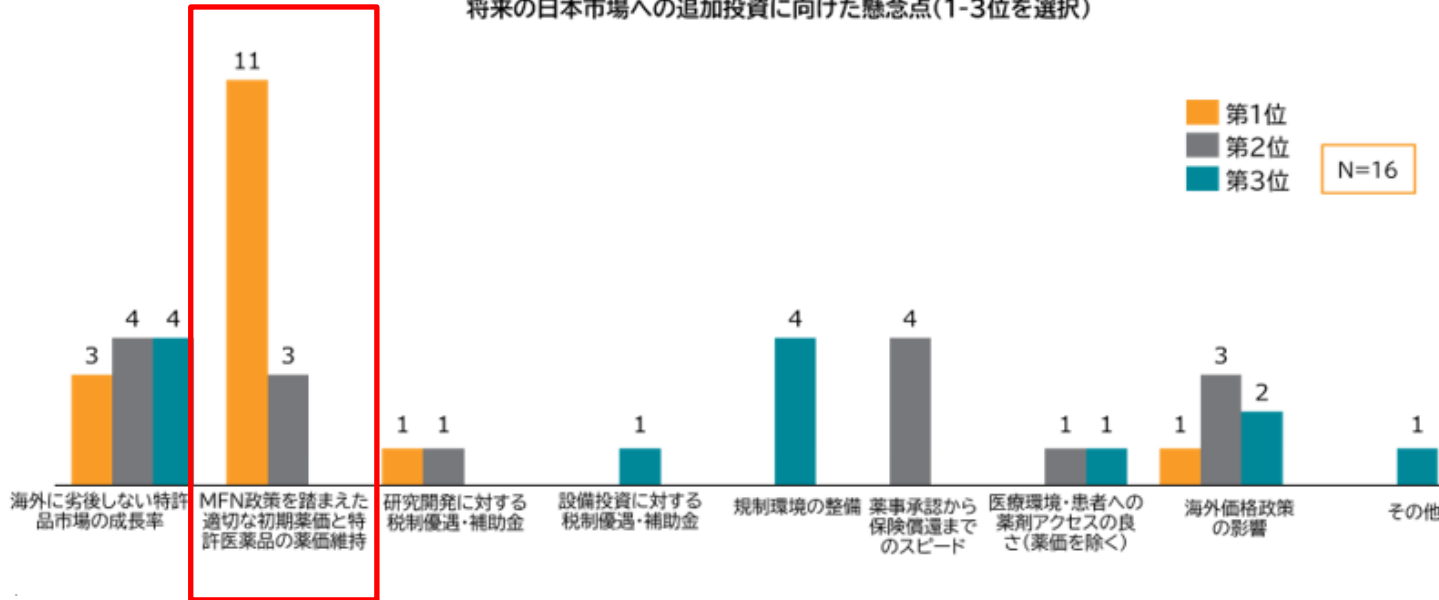
投資縮小・拡大の意向を示した企業数（16社）※複数選択

将来の投資懸念：薬価政策が最大の障壁

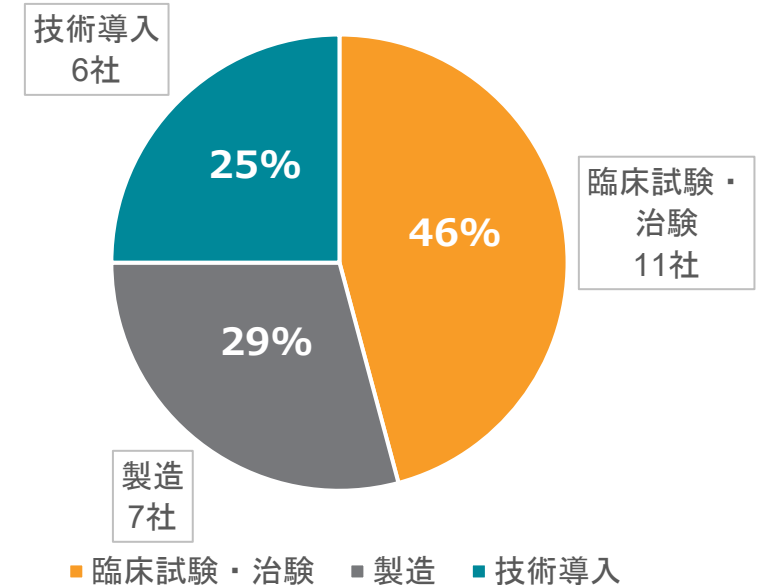
期待する制度変更が実現した場合 — 投資拡大の意向

n=14

将来の日本市場への追加投資に向けた懸念点(1-3位を選択)



注：仮定条件に対する投資意向。左右で回答社数が異なり、同じ企業の意向変化を示すものではありません。



出典：EFPIA Japan「創薬関連投資に関する調査」（2026年7月）

期待する制度変更とは

MFN政策下における適切な初期薬価設定や特許期間中の薬価維持

EFPIA Japanが提言してきた4つの政策



1

世界に比肩する特許医薬品市場の成長

日本を除くG7の年平均成長率9.6%に比肩する市場を目指す

2

国際競争力のある初期薬価

革新的医薬品の価値を評価し、主要先進国に劣後しない水準へ

3

特許期間中の薬価維持

継続的な開発・導入を支える、予見可能な薬価環境を確保する

4

社会保障改革の効率化分をイノベーションへ再投資

効率化により生まれた財源を、革新的医薬品の評価と提供につなげる

骨太方針・成長戦略に創薬イノベーションの方針が明記



世界に比肩する特許医薬品市場の成長を目指す

日本成長戦略の官民投資ロードマップに、国内の特許医薬品市場について世界に比肩する成長を目指す目標を明記。



初収載時の評価と特許期間中の薬価の検討

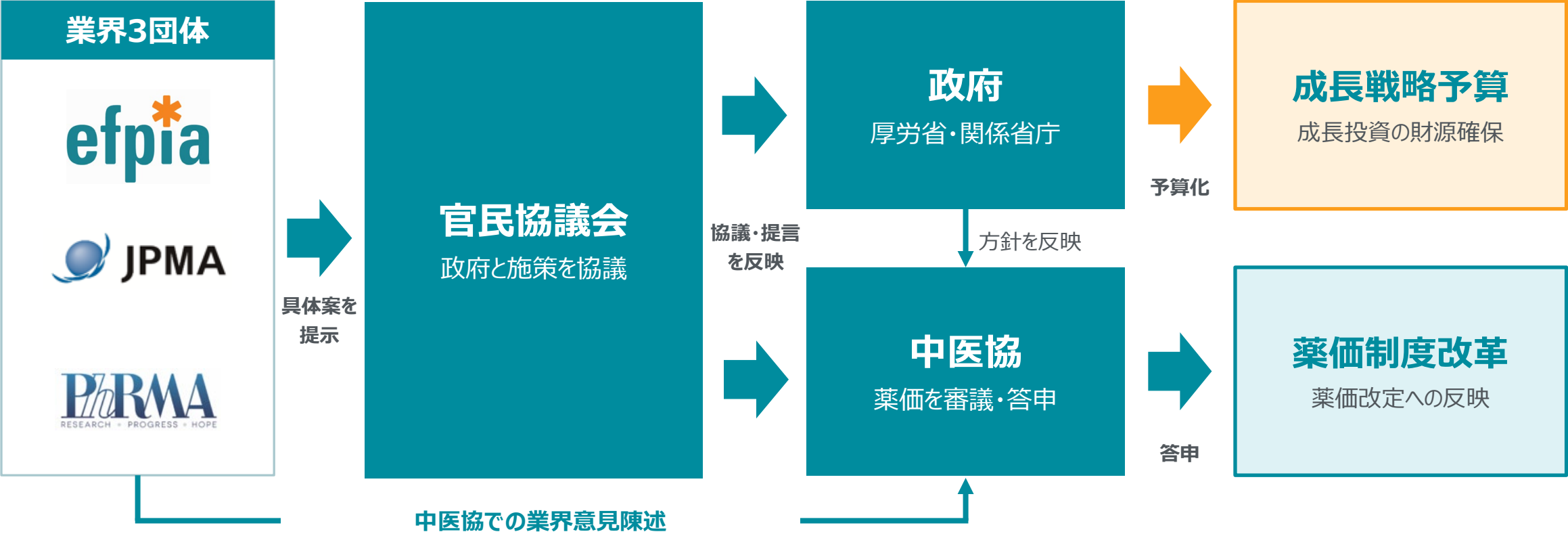
骨太方針2026に、初収載時の適切な評価と特許期間中の薬価の在り方の検討を明記。費用対効果評価の客観的検証を進める。



具体策の検討に向け、新たな官民協議へ

7月の官民協議会で、成長戦略の具体策を検討する新たな協議の場を、同協議会の下に設ける方針を表明。

国家戦略と一貫性を持った薬価制度改革成長投資の実現へ



日本への投資を呼び込む市場環境の整備

EFPIA Japanが訴えてきた4つの政策

1 世界に比肩する特許医薬品
市場の成長

2 国際競争力のある初期薬価

3 特許期間中の薬価維持

4 社会保障改革の効率化分を
イノベーションへ再投資



全ての特許品を対象とした制度改革

外国平均価格調整
の算定方法の見直し

革新的医薬品が上市時に適切に評価
されるよう、算定方法を見直す。

市場拡大再算定
の凍結

特許期間中の薬価引下げにつながる
市場拡大再算定を、凍結する。

費用対効果評価に基づく
価格調整の凍結

費用対効果評価に基づく価格調整の
適用を、凍結する。

患者アクセスと投資を支える制度改革の実行へ



患者アクセスの改善

革新的医薬品を患者さんに届け
国民の健康に貢献



経済成長への貢献

国内外の投資を呼び込み
雇用と産業の成長を実現

EFPIA Japan — 具体的な政策提言と関係者との建設的な対話を推進



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations



Thank you

